

【表紙】	
【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2018年8月22日
【発行者名】	カナディアン・ソーラー・インフラ投資法人
【代表者の役職氏名】	執行役員 大竹 喜久
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル33階
【事務連絡者氏名】	カナディアン・ソーラー・アセットマネジメント株式会社 財務企画部 ファイナンスマネージャー 石山 貴子
【電話番号】	03-6279-0311
【届出の対象とした募集 (売出) 内国投資証券に 係る投資法人の名称】	カナディアン・ソーラー・インフラ投資法人
【届出の対象とした募集 (売出) 内国投資証券の 形態及び金額】	形態：投資証券 発行価額の総額：一般募集 2,772,000,000円 売出価額の総額：オーバーアロットメントによる売出し 246,000,000円
	(注1) 発行価額の総額は、2018年7月26日（木）現在の株式会社東京証券取引所における本投資法人の投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。 ただし、今回の募集の方法は、引受人が発行価額にて買取引受けを行い、当該発行価額と異なる価額（発行価格）で一般募集を行うため、一般募集における発行価格の総額は上記の金額とは異なります。
	(注2) 売出価額の総額は、2018年7月26日（木）現在の株式会社東京証券取引所における本投資法人の投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。
安定操作に関する事項	1. 今回の募集及び売出しに伴い、本投資法人の発行する上場投資口について、市場価格の動向に応じ必要があるときは、金融商品取引法施行令第20条第1項に規定する安定操作取引が行われる場合があります。 2. 上記の場合に安定操作取引が行われる取引所金融商品市場を開設する金融商品取引所は、株式会社東京証券取引所です。
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

### 1 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2018年8月14日提出の有価証券届出書（同月15日付をもって提出した有価証券届出書の訂正届出書により訂正済み）の記載事項のうち、第2期財務諸表の1口当たり情報に関する注記の当期純利益又は当期純損失及び普通投資口に係る当期純利益又は当期純損失の数値に誤記があったことから当該記載を訂正するため、本有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

### 2 【訂正事項】

第三部 投資法人の詳細情報

第5 投資法人の経理状況

3 その他

### 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_ 罫で示してあります。

### 第三部【投資法人の詳細情報】

#### 第5【投資法人の経理状況】

##### 3【その他】

<訂正前>

(前略)

[1口当たり情報に関する注記]

	前期 自 2017年5月18日 至 2017年9月30日	当期 自 2017年10月1日 至 2018年6月30日
1口当たり純資産額	67,065円	96,583円
1口当たり当期純利益又は当期純損失(△)	△32,934円	2,007円

(注1) 1口当たり当期純利益又は当期純損失は、当期純利益又は当期純損失を日数加重平均投資口数で除することにより算定しています。

前期は当期純損失を計上しており、また潜在投資口がないため、潜在投資口調整後1口当たり当期純損失は記載していません。当期の潜在投資口調整後1口当たり当期純利益については、潜在投資口がないため記載していません。

(注2) 1口当たり当期純利益又は当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前期 自 2017年5月18日 至 2017年9月30日	当期 自 2017年10月1日 至 2018年6月30日
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△49,402	<u>330,439</u>
普通投資主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通投資口に係る当期純利益 又は当期純損失(△) (千円)	△49,402	<u>330,439</u>
期中平均投資口数(口)	1,500	164,642

(後略)

<訂正後>

(前略)

[1口当たり情報に関する注記]

	前期 自 2017年5月18日 至 2017年9月30日	当期 自 2017年10月1日 至 2018年6月30日
1口当たり純資産額	67,065円	96,583円
1口当たり当期純利益又は当期純損失(△)	△32,934円	2,007円

(注1) 1口当たり当期純利益又は当期純損失は、当期純利益又は当期純損失を日数加重平均投資口数で除することにより算定しています。

前期は当期純損失を計上しており、また潜在投資口がないため、潜在投資口調整後1口当たり当期純損失は記載していません。当期の潜在投資口調整後1口当たり当期純利益については、潜在投資口がないため記載していません。

(注2) 1口当たり当期純利益又は当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前期 自 2017年5月18日 至 2017年9月30日	当期 自 2017年10月1日 至 2018年6月30日
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△49,402	<u>330,449</u>
普通投資主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通投資口に係る当期純利益 又は当期純損失(△) (千円)	△49,402	<u>330,449</u>
期中平均投資口数(口)	1,500	164,642

(後略)